



独立行政法人
国際協力機構
Japan International Cooperation Agency

記事発行日：2019年4月5日（JICA ホームページ → ニュース → 緊急援助ニュースリリースより）

【JDR 医療チームが診療を開始】

国際緊急援助隊（JDR）医療チームは、4月2日、モザンビークのサイクロン被災地で診療活動を開始しました。

JDR 医療チームが活動しているグアラ・グアラ地区は、今回のサイクロンで甚大な被害を受けたソファラ州の中でも、道路の寸断により医療支援の手が届いていなかったエリアです。JDR 医療チームは、資機材をヘリコプターなどで輸送し、同地区に野外診療所を設置しました。

初日の活動では、患者さんの多くが、乳幼児でした。

心配そうに見守る母親も、日本人医師の診察を受けた我が子の様子に安堵しているようでした。

また、破傷風が重症化していた少年は、JDR 医療チームの看護師が付き添って、州都の総合病院までヘリコプターと救急車を乗り継いで緊急搬送されました。

3月15日にモザンビークを襲った大型サイクロンの被害は広範囲に及び、およそ180万人が被災しています。

日本はこの災害に対し、医師、看護師など27名のJDR医療チームを被災地に派遣したほか、緊急医療チーム調整所（EMTCC）の運営を支援するためにJDR 専門家チーム2名を派遣。

JICA を通じて浄水器などの緊急援助物資を供与しています。

